

2011年度 授業改善推進プラン

藤の台小学校

		1・2年	3・4年	5・6年
国語		<p>○大事なことを落とさないで話す・聞く・読む力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の詩を決め音読する。 ・聞き取りメモなどの取り組みを行う。 ・みんなの前で話す活動を多く設定する。 ・読み聞かせの機会を増やす。 <p>○順序がわかるように書く力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を考えて、書かせる。 ・文章の視写をさせるなどにより書くことへの意欲を高める。 ・メモを書いて順序を考えさせる。 <p>○言語の知識を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かな、漢字練習の継続。 ・読書への関心を高める。 	<p>○筋道を立てたり中心を考えたりして話す・聞く・読む力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の暗唱などに取り組み心情の読み取りの工夫を心がける。 ・発表、スピーチ、インタビュー等の活動を多く設定する。(様々な情報の中から取捨選択ができる場を設定する。) ・聞き取りメモなどの活動を行う。 <p>○段落相互の関係を工夫して書く力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日記やいろいろな感想文、手紙等、書く活動を多く取り入れる。 ・会話、段落等を意識させる。 <p>○言語の知識を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書を引く習慣を定着させる。またその為の環境を整える。 ・漢字練習の継続。 ・読書の習慣をつける。 	<p>○伝えたいことを的確に、相手の意図を考えながら話す・聞く・読む力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の暗唱に取り組み心情の読み取りの工夫をする。 ・発表やインタビュー、スピーチ、ディベート等を積極的に取り入れるとともに、相手や場を考えて話すことができるようにする。 ・「総合的な学習」との関連を考慮する。 <p>○目的や意図に応じ筋道を立てて書く力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチのためのメモ等、「話す・聞く」と関連づけて書く機会を増やす。 ・構想メモを活用して、内容や目的を明確にし、主題の伝わる文を考えることができるようにする。 <p>○言語の知識を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書や資料が目的に応じて使えるようにする。 ・漢字練習の継続。 ・進んでいろいろな分野の読書をする。
	算数	<p>「的に学習する態度を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りから整数が使われている場面を見つめる。 ・視覚的にとらえることができる教材教具の工夫。 <p>○「見通しをもち、筋道を立てて考え表現する能力を育てる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問を精選し、課題を明確にさせる。 ・問題場面と具体的場面を想起させて考えさせる。 ・1時間の授業の流れがわかる板書の工夫 ・具体物を用いたり、言葉・数・式・図を用いたりして表す活動に取り組む。 <p>○「数量や図形についての基礎・基本的な知識及び技能を身に付ける。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら計算の習熟が図れるような計算カード等の作成。 	<p>○「算数的活動を通して目的意識をもち主体的に学習する態度を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にとらえることができる教材教具の工夫。 ・日常生活において、算数にいかされているものを見つめる。 <p>○「見通しをもち、筋道を立てて考え表現する能力を育てる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図や表での表現の工夫。式・言葉・図を関連付けてとらえさせる。 ・自分の考えをノートにまとめ、友達と話し合いをしながら考えを深める。 <p>○「数量や図形についての基礎・基本的な知識及び技能を身に付ける。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の反復練習。(ドリル・プリント・算数チャレンジ) 	<p>○「算数的活動を通して目的意識をもち主体的に学習する態度を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて表やグラフを選び、活用する活動に取り組む。 ・授業で学んだことを、日常生活にいかす。 <p>○「見通しをもち、筋道を立てて考え表現する能力を育てる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線や図や表を用いて、問題を解く手立てや説明するための手立てとする。 ・自分や友達の考えを話し合いを通して考え一般化させていく。 <p>○「数量や図形についての基礎・基本的な知識及び技能を身に付ける。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の反復練習。(ドリル・プリント・算数チャレンジ)
社会		<p>○社会的事象の特色や相互の関連について理解し、考える力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる市の中の異なる場所や都内の他地域を、比べることで人々の生活を明らかにさせる。 ・写真や絵地図を活用し、社会的事象の相違点や共通点などを比べさせる。 <p>○資料を効果的に活用し、調べたことを表現する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域の社会的事象を実際に観察したり、調査したりする。その結果を地図にまとめさせる。地図記号や四方位をおさえ、活用できるようにする。地図帳を意図的に活用する。 ・市内の地図や都内の地図から、だいたいの位置関係をとらえ、特色を理解する。また、都道府県の名称と位置を理解する。 	<p>○社会的事象の特色や相互の関連について理解し、考える力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる市の中の異なる場所や都内の他地域を、比べることで人々の生活を明らかにさせる。 ・写真や絵地図を活用し、社会的事象の相違点や共通点などを比べさせる。 <p>○資料を効果的に活用し、調べたことを表現する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域の社会的事象を実際に観察したり、調査したりする。その結果を地図にまとめさせる。地図記号や四方位をおさえ、活用できるようにする。地図帳を意図的に活用する。 ・市内の地図や都内の地図から、だいたいの位置関係をとらえ、特色を理解する。また、都道府県の名称と位置を理解する。 	<p>○社会的事象の意味を考える力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の、直接的、間接的な関連を考えさせる。調べたことをもとに自分の考えを導き出せるようノートに記述させたり、新聞にまとめさせたりする。 <p>○社会的事象の特色や変化を理解する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館やインターネットを活用し、児童が社会的事象を身近にとらえられるよう工夫をする。新聞学習を取り入れ、最新の社会的事象にもふれさせる。 ・白地図やワークシートにまとめさせるなどの具体的な活動を取り入れる。 <p>○資料を効果的に活用し、調べたことを表現する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計やグラフ、年表などの資料を読み取れるように授業の中で、多く取り入れる。
理科		<p>○自然事象のきまりやつくり、性質、相互の関連について理解し、科学的な見方や考え方の育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近に診られる動物、昆虫、植物の成長やつくりを調べ、昆虫と植物、生物の活動や活動と季節の関わりについての考えを持つようにする。 ・光の性質、電気の回路、磁石、空気、水、金属等の性質、電気の働きについて調べ、それぞれの考えをもてるようにする。 ・太陽と地面の様子、月や星の特徴や動き、温度による水の変化について調べ、それぞれの考えをもてるようにする。 <p>○自然事象を比較しながら調べたり、季節や相互と関係づけたりして調べ、問題解決の能力を育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験の記録や発表の仕方を工夫して、問題解決の方法を身につけられるようにする。 	<p>○自然事象のきまりやつくり、性質、相互の関連について理解し、科学的な見方や考え方の育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物、魚、人の発芽や発生、成長等を調べ、発芽、発生、成長などについての考えを持つようにする。 ・物の熔け方、てこや振り子、燃焼、電磁石などの性質やきまりを実験を通して調べ、ワークシートを工夫して規則性についての考えをもたせる。 ・天気の変化、流水と土地の変化、土地の作りや地層のでき方、月と太陽などを実験やいろいろな資料で調べ、きまりを見つけさせる。 <p>○自然事象を条件を統一したり、要因や環境と関係づけたりして、調べ、問題解決の能力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件統一の必要性和り方を理解させ、正しい実験の仕方を身につけさせる。 ・課題を見つけ、調べ方を考え、根拠を明らかにして予想をもち、観察・実験、調べ学習を行い、結果から規則性やきまりを見つけ出せるようにする。 	<p>○自然事象のきまりやつくり、性質、相互の関連について理解し、科学的な見方や考え方の育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物、魚、人の発芽や発生、成長等を調べ、発芽、発生、成長などについての考えを持つようにする。 ・物の熔け方、てこや振り子、燃焼、電磁石などの性質やきまりを実験を通して調べ、ワークシートを工夫して規則性についての考えをもたせる。 ・天気の変化、流水と土地の変化、土地の作りや地層のでき方、月と太陽などを実験やいろいろな資料で調べ、きまりを見つけさせる。 <p>○自然事象を条件を統一したり、要因や環境と関係づけたりして、調べ、問題解決の能力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件統一の必要性和り方を理解させ、正しい実験の仕方を身につけさせる。 ・課題を見つけ、調べ方を考え、根拠を明らかにして予想をもち、観察・実験、調べ学習を行い、結果から規則性やきまりを見つけ出せるようにする。
音楽		<p>○表現したり鑑賞したりする楽しさや、友だちとかかわり合う楽しさを知って、音楽への興味、関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとふれ合いながら、体を使って音楽を楽しむ。 <p>○基礎的な表現の能力の礎を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の歌声や互いの歌声、また伴奏を聴きながら合わせて歌う。 ・鍵盤ハーモニカの、基礎的な奏法を知る。 ・身近な楽器に親しみ、簡単なリズムに慣れる。 ・身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをする。 <p>○楽曲のよさを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体反応の快さや、要素の働きを感じ取りやすい曲を聴いて楽しむ。 	<p>○進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通事項を聴き取り、そのよさを感じて楽しむ。 ・友だちと関わってアンサンブルを楽しむ。 <p>○基礎的な表現の能力を伸ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸や発音の仕方に気をつけて歌声を作る。 ・リコーダーや様々な楽器の基礎的な技能を身に付ける。 ・いろいろな音の響きや組み合わせを楽しみ、音楽の仕組みを生かしながら自分の音楽をつくる。 <p>○楽曲のよさや美しさを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独奏・重奏・独唱・重唱など色々な演奏形態による楽曲を、共通事項を軸に知覚し、感受する。 ・我が国の音楽や諸外国の音楽に触れて、その違いやよさを感じ取る。 	<p>○創造的に音楽にかかわり、生涯にわたって音楽を愛好する心情を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通事項をもとにして自分の思いや意図をもって音楽にかかわる。 ・アンサンブルの活動において、互いに高め合いながら、自分たちの音楽を構築していく。 <p>○基礎的な表現の技能を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の重なりや響きを感じ取り、音楽の縦と横の関係を意識しながら表現を工夫する。 ・思いや意図をもち、音の響きの組み合わせや音楽の仕組みを生かして音楽をつくる。 <p>○楽曲のよさや美しさを知覚し、感受する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合奏・合唱など、色々な演奏形態による楽曲を、共通事項を軸に知覚し、豊かに感受する。 ・様々な音楽に触れ、作曲家の生き様やその背景となる風土などにも思いを広げて自分の生き方に生かす。

<p>図工</p> <p>○進んで表したり見たり、つくりたいという気持ち育てる ・形や色などを工夫できる身近な材料や扱いやすい道具、題材を選ぶ。 ・教室全体を使ったり、広い空間を利用できる活動を工夫する。</p> <p>○思いをふくらませ、かいたりつったりする力を育てる ・用具の使い方を丁寧に指導する。 ・材料に体ごとかかわったり、「並べる、つなぐ、積む」など手や体全体を動かせる活動を工夫する。</p> <p>○面白さ・美しさに気付く楽しく見る力を育てる ・自分や友だちの表し方を面白いと感じたり形や色の楽しさを感じたりする活動の工夫をする。</p>	<p>○進んで表現したり鑑賞したりする態度を育て、つくりだす喜びを味わわせる ・形や色、材料などを生かしながら自分の考えを大切に楽しむ活動を行う。 ・主体的に作ったり、描いたりできる素材や題材を工夫し、意欲的に取り組ませる。</p> <p>○豊かな発想をし、表し方を工夫して造形的な能力を育てる ・想像力、構成力、造形的な感覚、技能を造形活動を通して伸ばすよう工夫する。</p> <p>○自分たちの作品や身近な美術作品のよさを感じ取る力を育てる ・よさや面白さを感じ取り、他と共有できるよう、話したり書いたりするように工夫する。</p>	<p>○創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育て、つくりだす喜びを味わわせる ・周囲とのかかわりの中で自分らしい活動を充実させ、意欲的に表現したり鑑賞したりする態度を育むようにする。</p> <p>○主題の表し方を構想するとともに、表し方を工夫して造形的な能力を育てる ・材料や対象などから形や色、質感、奥行き、動き等をとらえ、そこから想像力を動かせるよう工夫する。</p> <p>○自他の作品のよさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切に育てる ・自分たちの作品、我が国や諸外国の美術作品、暮らしの中の作品に触れる機会を持つ。 ・多くの人々が感じている美しさの感覚やエピソードなどを紹介することから、自他の作品のよさや美しさを感じたり、理解したりできるようにする。</p>
<p>体育</p> <p>○各種の運動を楽しむ ・楽しく体を動かし、十分な運動量が得られるように活動を工夫する。 ・さらに運動が楽しくなるよう、児童が工夫したり、発展的な運動につながったりする場を設定する。</p> <p>○基礎体力の向上を図る ・日々の授業の中で基礎的な体力向上に関連する活動を行う。また、スポーツテストなどの結果も考慮し、個々の体力に合わせた活動も取り入れていく。</p> <p>○きまりを守り、協力して運動ができる ・順番や決まりを守って仲よく運動したり、協力して仲よく勝敗を競ったりする態度を育てる。 ・一人一人が楽しみながら、チームの仲間と協力してゲームができるようにする。</p> <p>○基本的な技能につながる動きを学ぶ ・各種の運動における基本的な技能につながる動きを試す活動を多く取り入れる。</p>	<p>○体づくりの運動を充実させる ・もっている力や一人一人の課題にあった運動種目の工夫をする。</p> <p>○基礎体力の向上を図る スポーツテストの結果を考慮して豊富な運動量により個々にあった基礎的な体力を向上させる。</p> <p>○きまりを守り、工夫して運動する 「ゲームを楽しむ」から「創意工夫を加えてゲームをより楽しむ」段階へと学習を進めていく。 ・どの児童も運動の特性に十分ふれることができるようにルールやコート工夫する。</p> <p>○基本的な技能の習得を目指す 基本的な技能の習得を目指し、技能のポイントを理解しながら運動させるようにする。</p> <p>○保健学習 ・健康の大切さ・健康によい生活・体の発育発達について理解させる。</p>	<p>○自己の記録に挑戦する ・達成可能な目標を設定させ、達成感を味わわせながら新たな目標を設定して運動できるようにさせる。</p> <p>○基礎体力の向上を図る ・仲間との交流や自己の最善を尽くして運動する態度を大切に活動する工夫をする。 ・体ほぐしの運動や体力を高める運動の意味を理解し、スポーツテストの結果も考慮して個々の体力を向上させる。</p> <p>○基本的なルールを理解し、協力・公正に関する態度を育てる ・運動の基本的なルールなどを理解し、審判などの活動を通して協力、公正に関する態度の育成を図る。</p> <p>○基本的な技能の習得をする ・スポーツテストの結果を考慮し、個々の体力に合わせた活動も取り入れていく。また、各種の運動の基礎となる技能を習得する。</p> <p>○保健学習 ・心の発達・けがの防止・病気の予防について理解させ、それを日々の生活に生かせるようにさせる。</p>
		<p>家庭科</p> <p>○家庭生活をよりよくするために自分なりに工夫して実践しようとする意欲の育成 ・自分の日常生活を振り返り、家族の一員としての自覚を育て、自分の役割を考えさせる。そのために、児童自ら工夫して日常生活に役立てられるような授業展開やワークシート等の工夫をする。</p> <p>○自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能の習得 ・用具の安全な使い方や技能の習得のための時間を十分確保する。 ・家庭の協力を得て、実践していく態度を育てる。</p>
<p>生活</p> <p>○指導の個別化の推進 ・児童自身の探求活動を重視し、問題解決型の授業を展開する。 ・「遊ぶ」「つくる」などの具体的な活動や体験を重視する。</p> <p>○地域環境や地域人材を積極的に活用する。 ・地域の公共施設や人材のリスト&マップをつくり、積極的に活用を図る。 ・地域の環境を生かして園児や高齢者との交流を工夫する。</p>	<p>総合</p> <p>○周囲に関心を持ち、自ら課題を見つけ、解決しようとする態度の育成 ・児童自身の興味を広げるような活動を増やす。 ・「つくる」「育てる」などの体験を重視する。</p> <p>○地域環境や地域人材を積極的に活用する。 ・地域の公共施設や人材のリスト&マップをつくり、積極的に活用を図る。 ・地域の環境を生かして、地域の人との交流を積極的に進め、課題解決を図る。</p>	<p>○周囲に関心を持ち、自ら課題を見つけ、解決しようとする態度の育成 ・児童自身の興味を広げるような活動を増やす。 ・現在の社会課題と向き合わせる。 ・自分自身をみつめさせる活動をする。</p> <p>○地域環境や地域人材を積極的に活用する。 ・地域の公共施設や人材のリスト&マップをつくり、積極的に活用を図る。 ・地域の環境を生かして、地域の人との交流を積極的に進め、課題解決を図る。</p>
<p>道徳</p> <p>○道徳の時間のとらえ方 ・学校の全教育活動を通して行う道徳教育と関連を図りながら、計画的、発展的、系統的な活動を行うことによって、それらを補充、深化、統合する。 ・児童の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高め、道徳の実践意識と態度の向上を促し、道徳の実践力を育成する。 ・資料を通して児童一人一人が本音を語り合いながら価値観を高め、その高められた価値観に照らして、今までの自己に問いかけ、深く見つめ直す時間とする。</p> <p>○指導過程の工夫 ・導入 ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。 具体物の提示 視聴覚に訴える。 ・展開前段 資料によってねらいとする道徳的価値の追求、把握をする。 紙芝居 ビデオ パソコン ペーパーパート 役割演技 動作化 場面絵 ・展開後段 資料を離れ、自分自身の生活を振り返り、ねらいとする道徳的価値の把握・意識化をする。 ワークシート 話し合い活動 意図的指名 ・終末 ねらいとする道徳的価値についての整理やまとめをする。 教師の説話 児童の作文 日記 手紙 格言 ことわざ 歌</p> <p>○指導方法の工夫 ・資料の選択と分析 児童の実態に適したものを使う。 資料の分析をし、教師自身が資料に精通する。 ・資料提示の工夫 心に響く資料の範読 BGM 効果音 人物画 ペーパーパート お面 ・発問の工夫 主人公の決意や行動を考えさせる発問 主人公の決意や行動を支えていた心について考えさせる発問 主人公の心の中を類推させる発問 ・話し合い活動の工夫 安心して発言したり、しっかりと話を聞いたりできる雰囲気作り 受容的、共感的な態度 発言方法の工夫 自分なりの考えをもたせる。児童へのゆさぶり ・書く活動の工夫 時間の確保 ねらいにせまりやすいワークシートの工夫 中心発問や自己を振り返る場面など目的に合わせる。 事後指導、評価に活かす。 ・板書の工夫 登場人物のおかれている状況と行為との関係を明確にする。 集団思考の流れを整理する。 短冊カード 色チョーク 場面絵</p>		